

元氣 拳にした両手の腕を横に曲げて肘を左右に張る。

研究 「意味」と同じ要領の手まね。握り拳にした左手の手の首の下を、指頭を前方にさした右手の人差指を鎌をもむようにして斜め下に突き降して行く。事物をほじくって行くこと。つまり研究となる。

健康 「元氣」と同じ手まね。

現在 (今) 腹の前で、掌を下向け五指



の指頭を前方面角にさした両手を左右に僅かな間隔に並らべて、空間を下へ押えるように降す。「ここ今」

と云う気持で、自分の軀の位置を現在とする

建設 (建築) 「建てる」と同じ手まね。

剣道 両手で刀の柄を握り、青眼の構えをして打ち込め身振り。

幻燈 五指の指頭を上にし掌を内側に向けた左手をスクリーンとして、それに向って光線を当てるように五指の指頭を集め合せた右手をパツと開く。

拳斗 両手の拳で構えて、対手を打つ拳斗そのまゝの身振り。

憲兵 腕章——兵士。腕章は、右手の親指と人差指を少々広く開いて、その指頭で左腕の上に横に腕章を描く。

顕微鏡 五指の指頭を集め合せて、丸くした両手を上下に重ねて、顕微鏡の筒を形どり、上の方の手をぐるぐる廻らすようにしながら、(ピントを合わすこと)それに眼を近づけて伺く。

儉約 右手で「金錢」を表わしたのを右腹脇の前に位置させ、それを前から左手の掌で

照むようにして、身体に引寄せらる。

」

子 「息」或は「娘」で表わせばよい。

粉 五指の指頭を集め合せて下向けに郭れた両手。その夫々の五指の指頭を互にこすり合わせる。手の中の粉を指先から撒き落す身振。

鯉 ひげ一魚。鯉のひげは、人差指の指頭を前方にさした両手（掌は向い合う）を鼻の左右両脇にあてかかって両指を共に曲げて、かすかにふるわせながら、前に出して行く。

恋 (ハ) 指頭を下方斜めにさした両手の人差指を指頭で付け合わせ、指頭を上稍々斜めにさした両手の親指を指頭で付け合わせると一つの菱形になる。これを丸めにするるとハ一

ト形になる。それを左胸にびったりとつける
(ハ) 「思い忍ぶ」「思い焦れる」と同じ手まね。

好運 運命↑幸福。

光栄 指頭を左にさした右手の人差指、これも指頭を右にさした左手の人差指。この両指をかなりの間隔を置いて向い合わせて、そのまま両手を肩の高さまで引き上げて行く。

公園 胸の前で、五指の指頭を上にした両手の掌を向い合わせて、同時に左右から相寄らしめて、行き違いにする。そして、両手をもとに戻らして、前に内側になって手の方を今度は外側にして行き違いにする。多くの人々が行き交う状景を描写したもの。人が集る処、即ち公園。

後援 「応援」と同じ手まね。

講演 「演説」と同じ。「講義」ともなる